

教育委員会会議録（6月定例会）

日 時

令和5年6月29日（木）
午後1時30分から午後2時15分まで

場 所

日立市役所 304・305号会議室

出席委員

教育長	折笠 修平
教育長職務代理者	中村 雅利
委 員	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	小野 智久

委員以外の出席者

教育部長	松本 正生
理事	窪田 康德
総務課長	松本 賢吾
学校施設課長	高瀬 稔
学務課長	芳賀 友博
学務課課長	酒地 康彦
学校再編課長	渡邊 鏡子
生涯学習課長	齋藤 広美
スポーツ振興課長	玉置 伸一
指導課長	多田 賢一
指導課課長	佐川 正城
記念図書館長	鈴木 弘嗣
郷土博物館長	宮内 雅弘
教育研究所長	横山 宏栄
総務課副参事(兼)庶務係長	西 勇人
総務課副参事(兼)計画財務係長	高橋美奈子
総務課主幹	澤田 貴子
総務課主事	佐藤 友香

議 事

報 告

報告第 6 号 教育委員会 5 月定例会の会議録について

議 案

議案第 28 号 日立市立小中学校等学区審議会委員の委嘱について

議案第 29 号 日立市郷土博物館協議会委員の任命について

その他

- (1) 令和 5 年第 2 回市議会定例会について
- (2) 令和 4 年度審議会等の開催状況について
- (3) 第 66 回桐生市臨海子ども会の実施について
- (4) 令和 5 年度日立市職業探検少年団について
- (5) 運動部活動の地域移行等に向けた実証事業について
- (6) 令和 5 年度夏季教職員研修について

会 議 の 概 要

1 開 会

教 育 長 ただ今から、教育委員会 6 月定例会を開会します。

 本日は、傍聴希望者が 1 名おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員 結構です。

2 報 告

報 告 第 6 号 教育委員会 5 月定例会の会議録について

教 育 長 まず、報告第 6 号について、御意見等はありませんか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 議 案

議 案 第 2 8 号 日立市立小中学校等学区審議会委員の委嘱について

教 育 長 続いて、議事に移ります。
議案第 2 8 号について、学務課長から説明をお願いします。

学 務 課 長 日立市立小中学校等学区審議会委員は、令和 5 年 6 月 3 0 日をもって任期満了となることから、新たに委員を委嘱するものであります。

 任期は、令和 5 年 7 月 1 日から令和 7 年 6 月 3 0 日までです。

 委員 2 0 名のうち、8 名が新任となり、委員交代の理由は、委員の所属する機関の役員等の変更によるものです。

教 育 長 それでは、議案第 2 8 号について、可決することによろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第 2 8 号については、原案可決と決しました。

議案第29号 日立市郷土博物館協議会委員の任命について

教 育 長 次に、議案第29号について、郷土博物館長から説明をお願いします。

郷土博物館長 日立市郷土博物館協議会委員に欠員が生じたので、新たに後任の委員を任命するものであります。

委員の任期は、2年間でございますが、新たに任命する委員の任期は、前任者の残任期間である令和6年4月30日まででございます。

人事異動、役職の交代等に伴いまして、14名の委員のうち、3名の方を新たに任命するものです。

平澤一彦氏と磯邊裕一氏は、それぞれ人事異動と所属する組織での役職の変更によるもので、学校教育関係者の区分で任命するものであります。

また、高倉拓真氏は、市内の博物館類似施設でございます小平記念館、日立オリジンパークを所管する株式会社日立製作所の人事異動に伴い、社会教育関係者の区分で任命するものであります。

教 育 長 それでは、議案第29号について、可決することよろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第29号については、原案可決と決しました。

4 その他

(1) 令和5年第2回市議会定例会について

教 育 長 続いて、その他に移ります。

その他(1)について、御質問や御意見がございましたら、お願いします。

委 員 今回の市議会における教育関係の質問と答弁について、まず、議員の質問の中で、教育長の就任から今日までの評価と今後の教育施策の推進について、教育長が答弁された中で、成果が述べられているのですが、本当に同感です。特に、NIEの導入成果について、大変、有効に働いているのではないかと考えています。先日、坂本中学校を訪問した折に、NIEの掲示物がたくさんありました。また、それに対して、先生が感想等のコメントをきちんと添えていて、NIEが浸透している様子を見られて良かったと思っています。ま

た、大みか小学校でも、特別支援学級で新聞記事を活用して、いわゆる5W1Hを分析するような授業をやっていました。それを見ると、NIEが本当にどの学校でも浸透していると感じます。助川小学校でも、NIEを活用する姿が見られていますので、文章で書く力等については、これから徐々に成果が出てくるのではないかと考えています。

ただ、授業参観をしていて、言葉できちんと意見を述べる表現力について、児童生徒にもう少し頑張ってもらいたいという感想を持ちました。課題があると感じますので、是非、よろしくお願ひしたいと思ひます。そういったことは、ひたちらしさの教育につながっていくだろうと思ひます。特に、ひたちらしさの教育については、科学教育においてすばらしいものがありますし、日立鉱山の煙害対策で桜を植えるといった環境教育等も、ひたちらしさにつながっていくのではないかと思ひますので、そういったことについても、今後の教育施策の中に入れてもらえればと思ひます。要望ということでお願ひします。

伊藤議員の議案質疑に関連して、部活動の地域移行については、今、進み始めているところですが、地域指導者の確保や多様な部活動にきちんと対応できているかどうか、課題があるのではないかと思ひます。これから、課題に対してどのような対応をしていくのか、伺いたいと思ひます。

部活動を地域移行するこの機会に、部活動の本来の姿、在り方を改めて検討し直してはどうかと思うのですが、今のところの教育委員会の考え方について、併せてお伺ひしたいです。よろしくお願ひします。

指 導 課 長

まず、試行的な授業から、課題がいくつか見えてきているところで、指導者の確保が一番の課題だと思ひて、取り組んでおります。そちらについては、検討委員会を通しまして、四つの総合型地域スポーツクラブや、日立市は、県内で一番スポーツ少年団が多くありますので、そちらの指導者の方々と協力しながら、進めていきたいと思ひております。それ以外に、指導者への謝金や活動場所、教員の兼職・兼業、移行までどのように連携していったらいいのかなど、種目によってもそれぞれ課題があります。今年度は年4回、検討委員会を行う予定ですので、成果と課題を明らかにしながら、前に進めていきたいと思ひております。

また、部活動の本来の在り方については、生徒の自主的、自発的な参加により行われる活動というのがありまして、生徒の体力や技術の向上はもとより、豊かな人間性の育成が大切になってくるかと思ひます。今後、地域クラブに移行した場合も、この考え方を地域クラブの指導者の方々に伝えていきまして、勝利至上主義ではなく、人間性を育てるというところにも重点を置いて、クラブ活動を

行っていただきたいと思っております。

委 員 ありがとうございます。

今は、部活動の地域移行が進んでいますが、部活動の本来の在り方として、自発的な活動であるということ、豊かな人間性を培うものであるということ等をきちんと踏まえた上で、是非、よろしくお願ひしたいと思っております。日立市は、総合型地域スポーツクラブや少年団の活動が活発ですので、できれば部活動もそちらの方によく移行していくのが一番良いのではないかと考えているのですが、基本的な姿、本来の在り方として、自発的な活動と豊かな人間性を培う場だということ踏まえた上で、改革を進めていただければと思います。要望をしておきたいと思っております。

また、N I Eの推進について、目に見えて良い成果が出ているということをお述べましたが、それに対して、教育長はどう考えているのかお伺いできればと思います。

教 育 長 就任以来、N I Eの推進ということで、今の時代、新聞を教育に活用するというのは、情報活用能力、表現力も含めまして、大きな意義があるのではないかと考えております。茨城新聞にも、例えば、茨城新聞社の出前事業について、結構な頻度で載せていただいております、委員がおっしゃったように、徐々に浸透してきたのではないかと考えているところです。7月1日にも、N I Eセミナーで、助川小学校の教諭が実践発表をする予定ですので、だんだん市内でも広がってきているし、それが更に広がっていくという状況も見られます。ただ、それが数値として子どもたちにどう表れるのかというのはなかなか難しいところがありますが、N I Eの推進によって、子どもたちにいろいろな力が付くということで、これからも進めていきたいと考えています。

委 員 運動部活動の地域移行については、なんとなく形が見えてきたのかと思っておりますが、文化系の部活の今後について、日立市で何か協議をしているのか、どういう対応を考えているのかというところをお伺いしたいと思います。

指 導 課 長 文化部については、全ての中学校にある吹奏楽部を中心として考えております。先日も、県北の吹奏楽連盟の先生方やシビックセンターの音楽担当の方と協議をさせていただきました。やはり、委員がおっしゃるように、運動部とは違う課題がありまして、楽器の問題や、活動場所も学校の音楽室であるなど、運動部とは違う、大きな課題がありますので、いろいろな方の協力を得ながら、やっていきたいと思っております。県北の吹奏楽連盟の方々には、指導に協力するのは良いとおっしゃってくださり、シビックセンターからも、音

楽ホール等を空いているときに使うのは問題ないという前向きなお答えを頂いているので、そのような方向で、子どもたちのために何が一番良いのかというのを検討していきたいと思っています。

委員 ありがとうございます。
子どもたちもちろんですが、先生方の間で、業務の不公平感が生まれなければ良いと思っています。

委員 議員からいろいろ質問がありましたが、諸々予算が掛かるものが多いと思いました。給食費無償化の対象者は拡充して、アレルギー対策や市外に通う方、私立学校に通う方も公平に、負担にならないような形にしてほしいということで、子どもの権利として、公平に見ればそのとおりだと思ったのですが、スクールカバンに関しては、需要についての調査が必要なのではないかと感じました。諸々予算が掛かってくるのですが、今後、日立市も人口が減ってきて、先生方の人手も不足ってきて、本当に学校の中で必要なものはどういったものなのか、どこに予算を集中して、固定費を掛けているかなければならないのかについて、教育委員会で考えていることがあるのか、お聞かせいただければと思います。トイレが古いといった施設の問題もありますし、もう少しお金を掛けるべきところもあるのではないかとも思ったので、全体としてどういったところに予算を使っていくのかについて、指針がありましたら、お聞かせいただければと思います。よろしくお願いします。

教育部長 教育委員会関係の予算につきましては、市の予算の一部であり、なかなか教育委員会の考えだけで全てが通るという状況ではございません。上限がありますので、その中でどういったところにお金を使っていくのかについて、教育委員会での御意見や学校からの要望等を基に、予算編成をしているところです。

一方で、日立市の場合、人口減少対策、少子化対策というのが大きなテーマになっておりますので、必然的にそういったところの予算配分が手厚くなる傾向がございますし、教育委員会としても、市全体で力を入れているところには、重点的に考えを持っていないといけなとと考えております。

トイレの改修についても、計画的に工事をやらせていただいているところで、特に、箱物については、児童生徒数が減っている現状があり、学校再編により学校そのものの数も将来的に少なくなつてまいりますので、その点も踏まえながら、予算編成について考えていかなければならないと考えております。

委員 ありがとうございました。
バランス良くやっていただければと思います。

(2) 令和4年度審議会等の開催状況について

教 育 長 次に、その他(2)について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長 教育委員会が設置しております、10の審議会や委員会などについて、令和4年度の開催状況を報告いたします。

「奨学生選考委員会」は、奨学生選定の適正を図るため、8月に開催し、奨学生を選考しました。

「小中学校等学区審議会」は、教育委員会の諮問事項がなかったため、開催はいたしませんでした。

「教育支援委員会」は、6回の会議を開催し、特別な支援が必要と思われる児童生徒の就学先などについて、審査を行いました。

「社会教育委員会議」は、3回の会議を開催しております。本市の生涯学習事業や教育振興基本計画改定に伴うアンケート調査の内容などについて協議を行いました。

「いじめ調査委員会」は、1回の会議を開催し、本市における児童生徒のいじめの状況について、審議等を行いました。

「市立図書館協議会」は、1回開催し、事業報告、事業計画について、御意見を頂きました。主なものとして、令和4年度に開催した本市出身の児童文学作家による講演会を例に、地元根差したものを今後も図書館から発信してほしいなどの御意見がございました。

「視聴覚センター運営委員会」についても、1回開催し、事業報告、事業計画について、御意見を頂きました。

「文化財保護審議会」は、2回開催し、指定文化財の現状変更や指定などについて、審議を行いました。

「郷土博物館協議会」は、2回開催し、令和4年度の事業報告を行うとともに、令和5年度の事業方針等について、御意見を頂きました。主なものとして、より広く親しまれる博物館となるよう広報活動を充実させることや、市内施設等と連携し、幅広い世代を対象に事業を展開することなどの御意見がございました。

「学校給食共同調理場運営審議会」は、学校給食に関する重要事項を審議する会議ですが、昨年度は、諮問事項がなかったため、開催はいたしませんでした。

委 員 小中学校等学区審議会について、諮問事項がなかったため未開催となっておりますが、審議会名から、学校適正配置や部活動の地域移行などが会議の内容になってくるのではないかと思っておりますが、審議会の目的をお知らせいただければと思います。よろしくをお願いします。

学務課長 小中学校等学区審議会は、教育委員会からの諮問に応じて、小中学校等の学区について審議し、教育委員会に答申をしていただくことになっております。

具体的には、区画整理や住宅団地の造成などに伴い、通学区域を設定する必要がある場合に開催しております。

参考ですが、直近では平成16年の10月に開催したところでございます。

なお、学校再編による学区の設定については、統合準備委員会等におきまして、学校、保護者、地域及び教育委員会が入って学校の協議を行うため、学区審議会については割愛をさせていただいております。

委員 そうすると、統合準備委員会がメインで学区が決まっていくというような流れと理解してよろしいでしょうか。それとも、統合準備委員会が終わった後に審議会が改めて開かれて、学区が決まっていくというような流れでしょうか。

学務課長 学校再編に伴う学区の設定等については、統合準備委員会での協議となりますが、市内で新たに学区を設定することがある場合などにおいては、学区審議会において審議してまいります。

(3) 第66回桐生市臨海子ども会の実施について

教育長 次に、その他(3)について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長 本事業は、昭和33年の開始以来、令和元年まで、東日本大震災の年を除いて毎年実施してまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度から令和4年度までは、桐生市側の中止の判断により実施されませんでしたので、本年度は4年ぶりの開催となります。

実施概要でございます。本市と国内親善都市の提携をしている群馬県桐生市の子どもたちに海に親しむ機会を設け、団体行動を通じて生活指導を行い、子どもの健康増進及び健全な子ども会の発展に寄与することを目的に実施するものです。

主催は、桐生市と桐生市子ども会育成団体連絡協議会で、開催場所は、河原子海水浴場です。また、宿泊施設は、河原子旅館組合所属の旅館です。

開催期間につきましては、7月22日土曜日から7月24日月曜日までの期間に、第1団が22日土曜日から23日日曜日まで、第2団が23日日曜日から24日月曜日までと2団編成、それぞれ1

泊2日の予定で実施されます。

参加者は、桐生市の小学3年生以上の子ども会会員と育成会会員等で、1団当たり240人程度、合計480人程度を予定しております。

行事内容について、令和元年度までは2泊3日の日程でしたが、今年度は1泊2日に変更となり、日立市での滞在時間が短いことから、開会セレモニーにつきましては、規模を縮小して実施し、子どもたちにできるだけ長く海水浴を楽しんでもらう予定で考えております。

セレモニーの後は、緊急時の避難訓練、海水浴、夜はそれぞれの宿泊先でレクリエーションなどを実施予定でございます。

本市の対応でございますが、本事業を今後も安定的に継続させ、親善都市との交流を深めるため、1日目及び2日目の昼食について、桐生市子ども会育成団体連絡協議会に対し、費用の一部を助成しております。

(4) 令和5年度日立市職業探検少年団について

教 育 長 次に、その他(4)について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長 日立市職業探検少年団は、小・中学生を対象に、現在11ある職業別の少年団が、それぞれの職業に関係する団体の協力の下、専門的な知識や経験を持つ方の指導を受けながら、職業を体験するキャリア教育を子どもたちに提供する事業です。

活動の経過にありますように、平成18年度に少年団が設立され、今年度で18年目を迎えました。

活動内容及び団員数でございます。楽しく学ぶことを基本に、それぞれの職業について、見て、聞いて、体験することができるよう見学や体験講義を中心に活動が行われております。

今年度の団員数につきましては、6月13日現在で171人となっております。これまで累計で延べ2,000人以上の子どもたちに、様々な職業を体験する機会を提供することができました。今後、本市の特色ある事業の一つとして、より多くの児童生徒に職業体験の機会を提供できるよう取り組んでまいります。

(5) 運動部活動の地域移行等に向けた実証事業について

教 育 長 次に、その他(5)について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長 国・県では、運動部活動の地域移行に向け、子どもたちが地域でスポーツに継続して親しめる環境整備を進める際の課題解決に取り組むための実証を行うことを目的として、運動部活動の地域移行に向けた実証事業を実施しています。

本市では、昨年度から地域移行に向けた検討委員会を設置して話し合いを進めてきました。今年度、同事業として十王中学校の生徒を対象に休日の部活動の地域移行のための地域クラブを開設しているNPO法人UPOPO十王スポーツ文化クラブの取組を申請しました。今後、十王スポーツ文化クラブの実証を経て、課題等を整理・検証することで、生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の実現を図ってまいります。

事業の内容について、御説明いたします。

事業名は、地域スポーツクラブ活動体制整備事業です。

財源は、県委託事業で、内容等は、十王スポーツ文化クラブによる十王中学校における部活動、7種目11部活動の地域移行に係る取組の実践です。

十王スポーツ文化クラブの取組について、御説明いたします。

実施日は、月2回、原則第1・3土曜日、1回3時間です。

場所は、十王中学校の部活動場所と同じ場所です。

内容は、各種目に係る基礎技能向上のための指導で、開設種目は、7種目11部活動です。

今後のスケジュールです。

6月中に、茨城県と日立市が委託契約を締結する予定です。また、7月に、日立市と十王スポーツ文化クラブが委託契約を締結し、事業を開始する予定です。

なお、令和5年6月の市議会へ補正予算を上程いたしました。

委 員 確認ですが、学校で指導に当たるというだけで、例えば、練習試合があったときに、同行してその場で指導するなど、コーチのようなことを行うわけではないという理解で大丈夫ですか。

指 導 課 長 こちらの活動は、原則月2回の第1・3土曜日を十王中学校において部活動を実施しない日と定めまして、希望者は第1・3土曜日に地域クラブに行き、技術指導をしていただくということを基本に考えておりますので、学校の練習試合とは、直接関係しない形になっています。

(6) 令和5年度夏季教職員研修について

教 育 長 次に、その他(6)について、教育研究所長から説明をお願いします。

教育研究所長 この事業は、教育実践上の課題解決や教職員の資質向上のための研修を実施することにより、本市が育成を目指す資質・能力の実現に資することを目的としております。本市教育課題の解決や本市教育の充実、発展を目指して、職層や経験に応じた研修、専門性を高める研修など、教職員に必要な研修を夏季休業中に企画するものです。

なお、企画に当たっては、令和5年度「日立の学校教育」の重点事項を踏まえるとともに、日立市教育研究会や県主催の研修との調整を図り、研修内容の精選と効率化を進めております。

現時点での情報でございますが、職層や経験に応じた研修につきましては、学級経営研修会、幼児教育と小学校教育の接続のための研修会の二つを計画しているところでございます。

続いて、専門性を高める研修につきましては、教師力パワーアップ講座といたしまして、情報活用能力を育むICT活用、AI時代のインターネット使用についての児童生徒への指導の在り方、不登校児童生徒への支援と教育相談、主体的対話的で深い学びにつながる学級づくり・授業づくりの四つを計画しております。

特別研修につきましては、一般教養研修会といたしまして、虐待防止及び教職員による保護者、家庭支援の在り方、自分を傷付けてしまう心の理解の二つを計画しております。

共催研修につきましては、市の教育研究会等と共催して実施するものです。幼稚園、こども園学級経営研修会、各種実技研修会、発達障害の理解と支援研修会など、合計八つの研修を計画しております。

なお、本研修で取り上げたほかの内容については、別途、相談を受け付けるなど、可能な限り対応をしていく予定でございます。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策等を十分に行って研修を実施してまいります。必要に応じてオンライン等を活用した研修も検討してまいります。

5 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 令和5年7月27日（木）午後1時30分から、日立市役所3階304・305号会議室で開催予定です。

6 閉 会

教 育 長 以上をもちまして、教育委員会6月定例会を終了いたします。

以 上